

請 願 文 書 表

受 付 番 号	請 第 5 号
受 付 年 月 日	平成 28 年 8 月 25 日
提 出 年 月 日	平成 28 年 9 月 14 日
件 名	これからも直営で、安全でおいしい、地産地消の病院給食を求める請願
請 願 者	私たちの市立病院をみんなで守る会 他 8 団体 藤枝市仮宿 浅羽廣吉 他 2, 637 人
紹 介 議 員	石井通春、大石信生
請 願 趣 旨	
藤枝市立総合病院では、志太病院創立以来直営で行ってきた患者への食事提供業務を、来年 4 月から民間事業者へ委託する予定ということである。	
規制緩和、官から民への大合唱のもとで、県内でも給食業務を外部の民間事業者へ委託する病院が多くなっている。しかし、病院の「食事は医療の一環として提供されるべきもの」であり、「食事の提供に関する業務は保険医療機関（病院）自らが行うことが望ましい」と、本年 3 月 4 日付厚生労働省保険局医療課長通達に明記されている。病院給食は直営で行うことが、本来の姿である。	
また、近年、給食業務を受託する民間事業者は大規模化、全国チェーン化が強まっていて、給食材料の調達も全国規模化、大量仕入れの方向である。藤枝市が昨年 12 月に制定した藤枝市地産地消の推進に関する条例がめざす方向とは、まったく逆になることが予測される。	
そして、この外部委託は病院運営には何の利益もなく、逆に費用負担が増えてしまうことになる。病院給食担当科の平成 26 年 7 月 24 日付検討結果報告によれば、年間に 4 千 6 百万円余の出費増となる見込みとなっている。	
以上のことから、次のように請願する。	
① 藤枝市立総合病院の給食業務は、本来の姿である直営を堅持すること。	
② 地産地消を大いに推進し、安心、安全でおいしい食事を患者に提供するよう いっそうの努力をつくすこと。	
付 託 委 員 会	健 康 福 祉 委 員 会
審 査 結 果	不 採 択